

本とメッセージで、元気をお届けします 先生が先生にお薦めする本

10冊

読者の先生方に、少しでもやる気や元気をお届けしたい！
そんな思いで、高校の先生方に10冊の本をご推薦いただきました。
ここでは、「先生が先生にお薦めする本」とともに、先生方からのメッセージを
ご紹介します。読者のみなさまは、どの本が読みたくなりましたか？

構成・文／小島由希 撮影／畑山亮太

その幸運は偶然ではないんです！ 夢の仕事をつかむ心の練習問題

J.D.クランボルト、A.S.レヴィン／著、
花田光世、大木紀子、宮地夕紀子／訳（ダイヤモンド社）

これまでの進路指導では「夢」があって「進路選択」があった。だが、生徒みんながそれをかなえられたのだろうか。進路指導が、できる生徒のものだけであってはいけない。この本は不本意ながら選んだ道であっても、目の前の出来事に心を開き行動していけば、選んだ道がどこかで再び「夢」とつながることを述べている。このオープンマインドの大切さは、新たなキャリア教育の一助になると考える。

（三重、私立鈴鹿中学校・高校
山出諭先生）

教師というキャリア 成長続ける教師の六局面から考える

ベティ・E.ステフィ、マイケル・P.ウルフほか／編著、
三村隆男／訳（一般社団法人雇用問題研究会）

キャリア教育を熱心にすすめている先生も、
案外教師としてのキャリアには無頓着な場合も
少なくないように思います。しかし教師の
キャリアにも段階があります。
この本では教師としてのキャリアを6局面にま
とめ、それぞれの段階について、次の成長の
ために必要なこと、課題などが書かれていま
す。教師としての自分のキャリアを考えたい
先生、これからどうしようかと考える中堅の先
生には特にお薦めです。

（京都、私立立命館宇治中学校・高校
酒井淳平先生）



反転学習

生徒の主体的参加への入り口

ジョナサン・バーグマン、アーロン・サムズ／著、
東京大学大学院情報学環 反転学習社会連携講座／監修、
上原裕美子／訳（オデッセイコミュニケーションズ）

この夏休みに出会いましたが、読んでいる途中からもうす
でに、行動したくて仕方がなくなるくらい、極めて強く刺激
された1冊です。反転授業の先駆者として知られるジョナ
サン・バーグマンとアーロン・サムズの2人による『反転授
業』の続編。前著は2人の取り組みが中心でしたが、本著
は2人に刺激された先生方の取り組みが詳しく紹介され
ています。「反転授業はやらない」と考えていた（今でも考
えている）自分でも、これは取り入れたいと強く感じ、その
後の授業研究に活かしています。今よりもっと効果的な
授業をやりたい先生へ、強くお薦めしたい本です。

（東京、私立関東第一高校 横山北斗先生）

教養力

心を支え、背骨になる力

齋藤孝／著（さくら舎）

いろんなことに不安や不満を持ってしまいがち
な時に立ち返るべきなのが教養力です。悩み
が深くなるのは無知が原因であることが多々あ
ります。「なぜ」「何が問題点か」を論理的に考
えることに加え、「知る」ことが次に起こすべき
行動の確たる支えになります。
さまざまな生徒・保護者・同僚・上司との関係を
構築するうえで助けになりますし、自分の視野を
開いてくれる本でもあります。

（広島、県立大門高校 加藤雅仁先生）

マンガでやさしくわかる アドラー心理学

岩井俊憲／著、星井博文／シナリオ、
深森あき／作画（日本能率協会マネジメントセンター）

教育方面にアドラー心理学が役に立つと言
われていますが、専門書を読み、理解するのは
大変難しいし、時間もかかります。しかしこの
本はマンガで読みやすく、要点もしっかりとま
とまっています。一般書ですが、教育相談や生
徒指導で生徒を理解し、指導に活用できる参
考事項やテクニックがふんだんに書かれていま
す。実践編として第2巻もあります。マンガで
すがバカにできない良書です。

（福岡、北九州市立高校 南正起先生）



空見上げて 「新人育成教員」日記

小川洋／著(仮説社)

小学校を定年退職後の任用で、初任者の指導教員となり、初任者とともに1年間を過ごした記録である。初任者担当教諭が育成する側から初任者の質問に答える形で書かれた本だが、教員を希望する人、初任者・若手教員はもちろん、新人を指導する人にも役立つ本になっている。小学校の実践ではあるが、対生徒・教科指導・保護者との対応・他の教員との関係など、高校教員でも十分参考になり、おもしろい1冊である。そして、私のように退職を迎え、再任教員として一步を踏み出そうとしている人にも、教師の初心を思い出させてくれる本になっている。

(大阪、府立枚方高校 片山徹先生)

「せんせい。」

重松清／著(新潮文庫)

「せんせい」をしていると、楽しいこともいっぱいあるけど、辛いこともたくさんあります。自分が落ち込んでしまったとき、いつも励ましてくれるのが、この1冊です。「また明日から、自分にできる精一杯のことをしよう」という気持ちになります。私が担任をさせていただいたクラスから、卒業後たくさんの方が教師になってくれました。現在担任をしているクラスでも数名が教師を志望してくれています。「先生が担任をしてくださると毎日が楽しいから」と卒業生の1人が話してくれました。きっとみなさん、私が落ち込んでいることなど知らないのです。この本のおかげです。

(大阪、府立山本高校 清水直樹先生)

勉強するのは何のため？ 僕らの「答え」のつくり方

苦野一徳／著(日本評論社)

他校の先輩教員から薦められたこと、タイトルにひかれたことで読み始めました。タイトルどおり、勉強するのは何のためなのかに「答え」を出してあることも注目すべき点ですが、そこに至るまでの過程が論理的で一気に読みました。「自由の相互承認」というフレーズが印象的で、クラス運営のヒントにもなり、オススメです！

(福岡、私立福岡工業大学附属城東高校 石丸貴史先生)



読者プレゼント のお知らせ

このページで紹介させていただいた本は、読者プレゼントとさせていただきます。読者ハガキに必要事項をご記入の上、ご応募ください。

普及版 考える練習をしよう

マリリン・バーンズ／著、マーサ・ウェストン／絵、左京久代／訳(晶文社)

アクティブ・ラーニング型授業が取り沙汰されている昨今です。アクティブな脳みそを持つ子どもを育てるには、先生も脳みそをアクティブにしましょう。

本書は、既成概念や先入観・思い込みにとらわれない考え方をする練習にもってこいです。生徒にそのまま教えてもいいです。ご自身の脳みその柔軟体操にご活用いただいても結構です。

既知の話題もあるとは思いますが、イラストを楽しみながらじっくり読める1冊です。

(神奈川、県立相模向陽館高校 内藤哲也先生)

シンプルに考える

森川亮／著(ダイヤモンド社)

いわゆるビジネス書。LINE(練)を立ち上げた筆者の考え方を知ることが出来る。「あれも大事、これも大事」と悩んではいけない。表面的な価値に惑わされるのではなく、「何が本質か？」を考えつくす。そして、もっとも大切なことにすべての力を集中させる。「いらぬものは全部捨て、本質だけを追求する」等、これらの本のカバーに掲載されている言葉に惹かれて買ったもの。基本的に1項目4ページなので、いつ読んでもどこから読んでも、サラリと読める。今現在の自分の仕事、仕事の手順、方法を再考するきっかけとなる。

(青森、県立八戸北高校 小向暢輝先生)